

本会の活動から

東京都島しょ部のがん検診に協力

東京都島しょ部の住民を対象とした2023年度のがん検診のうち、八丈町の乳がん・子宮がん検診が八丈町保健福祉センターにて3月1～5日に行われ、本会が協力した。

令和5年度東京都先天性代謝異常等検査連絡協議会が開催

先天性代謝異常等検査を円滑に実施するため、実施主体である東京都と採血業務を担う病産院、検査業務を担う本会、東京都医師会ら関連団体、そして治療にあたる専門医らが集い、さまざまな問題点や課題を検討する連絡協議会。

その令和5年度の協議会が2月7日にWeb開催され、「2022年度の検査実績」や「精密検査結果の把握について」などを議題に検討が行われた。

本会からは、理事長の久布白兼行、常務理事の大島利彦、理事の矢島晴美の他、地域・学校保健

医師・看護師のミーティングを開催

本会では新年度を前に、医師、看護師を対象として、健診現場で起こるさまざまな問題を話し合い、関係者間の共通理解を深めて健診の精度やサービスの向上を図ることを目的としたミーティングを行っている。

ミーティングには、健康診断に携わる医師、看護師の他、関連する部署の担当者も参加。

2月2日に開催された「ナース・ミーティング」には22人が、3月2日に開催された「ドクターズ・ミーティング」には27人が参加した。

学校における心臓検診・腎臓検診の打ち合わせ会を開催

本会では例年、新年度に先立ち、学校における検診が円滑に行われるよう、検診の診察や診断を担当する医師や検診検査部、地域・学校保健事業部などの関係者による打ち合わせ会を開いている。今年度は、3月7日に心臓検診、3月8日に腎臓検診の打ち合わせ会を開催した。

人間ドック紹介動画を作成

本会では、人間ドックを希望されるお客様向けに、安心して検査をお受けいただけるよう、本会人間ドックの特徴や検査内容、検査手順などを解説した紹介動画を作成し、1月よりホームページで公開している。

事業部と母子保健事業部の職員13人が参加した。

予防医学事業中央会

令和5年度保健指導研修会に参加

令和5年度保健指導研修会（主催 予防医学事業中央会）が1月25～26日、「第4期特定健診・特定保健指導への対応について」をテーマに東京都新宿区で開催され、全国の都府県支部から約30人が参加した。

研修会では、岩手県支部、長崎県支部と本会の取り組みの現状が報告され、意見交換が行われた他、「第4期特定健診・特定保健指導への対処法について」をテーマとする講義などが行われた。本会からは健康増進部の職員3人が参加した。

予防医学事業中央会

令和5年度全国業務研修会に参加

令和5年度全国業務研修会（主催 予防医学事業中央会、宮崎県健康づくり協会）が2月15～16日、宮崎県宮崎市で開催され、全国の都府県支部から渉外担当者ら約80人が参加した。

学術集会への参加等

●第77回デジタルマンモグラフィ品質管理講習会が2月4日、東京都港区で開催され、放射線部の職員1人が参加した。

●第26回初心者のための腹部超音波検査実技講習会が2月10日、東京都世田谷区で開催され、検診検査部の職員1人が参加した。

●第11回乳房超音波技術講習会が2月10日、東京都港区で開催され、検診検査部の職員2人が参加した。

●第31回日本CT検診学会学術集会が3月1～2日、愛知県名古屋市中区で開催され、放射線部の職員2人が参加した。

牛込第三中学校の職場訪問に協力

本会では、牛込第三中学校が職業観・勤労観の育成を目的として行う職場訪問に協力。2月2日、1年生4人が本会を訪れ、検査業務を中心に本会の業務を見学した。

東京慈恵会医科大学学生の研修に協力

本会では、東京慈恵会医科大学が医学科3年生から6年生を対象に行っている産業医実習に協力している。今年度は3月11日～15日の5日間、3人の学生を受け入れ、産業医活動の実際や産業保健スタッフの役割などについて講義を行った。

研修会は、各支部の現状や問題点を話し合い、情報交換を行う中で、それぞれの支部の改善点や必要な取り組みを確認し、健診・検査やサービスのさらなる向上につなげることを目的としている。本会からは常務理事の大島利彦、職域保健事業部長の廣瀬篤史の他、職域保健事業部、地域・学校保健事業部、施設健診事業部の職員4人が参加した。

第57回

全国予防医学技術研究会に参加

第57回全国予防医学技術研究会（主催 予防医学事業中央会、神奈川県予防医学協会）が3月7～8日、神奈川県横浜で開催された。

研究会では「新たな予防医学技術の向上をめざして」をテーマに、がん検診や学校検診、健診・検査技術、保健指導などに関する発表が行われ、全国の都府県支部等から約300人が参加した。

本会からは、理事の矢島晴美、検診検査部長の神宮字広明の他、検診検査部、健康増進部の職員10人が参加した。



外部からの評価

各都府県や東京都などが定める認定制度において、本会の健康経営の取り組みが評価された。

●健康経営優良法人2024（ホワイト500）に認定

健康経営優良法人認定制度は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みを基に、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度。このうちホワイト500は、大規模法人部門に認定された2988社（今年）の内、上位500社に付加される名称である。

本会では、2021年から4年連続でホワイト500の認定を受けた。

●東京都スポーツ推進企業に認定

東京都では2015年度から、従業員のスポーツ活動の促進に向けて優れた取り組みやスポーツ分野における支援を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定している。本会は、2018年度から6年連続で「東京都スポーツ推進企業」に認定された。

●スポーツエルカンパニーに認定

スポーツ庁では、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業を「スポーツエルカンパニー」として認定している。本会は、2018年度から6年連続で「スポーツエルカンパニー」に認定され、昨年に続き「ブロンズ認定」を受けた。